

■2012-13年度 会長方針

■今年度の当クラブのテーマは～原点を見つめながら～「スディーン」であります。原点とは、もちろんロータリーの基本である①定款、綱領、超我の奉仕、例会（毎週）で斉唱する四つのテスト、奉仕の理想等々です。

スディーンとは孵化する、再生することを意味する沖縄方言です。現在ではシリーンと発音する場合もあるが、正月の若水のことをスディ水と呼ぶこともあってスディーンとした。

当クラブの特性を考える上でも常に再生、活性化に努力しながらロータリーの目的を対外にも発信したい。その目的を認識した上で独自の企画を含めた地域のプロジェクト等を積極的に支援して行きたい。

さらに今年度の地区大会は当クラブがホストクラブなので、地区担当役員・実行委員長を中心にして当クラブ全会員一丸となって成功裏に終えたい。

1. クラブ奉仕委員会

- ① 職業分類・会員選考・職業分類を見直し、選考基準を明確にする。
- ② 会員増強
3人純増。しかしそれ以上の増員を努力したい。
- ③ プログラム
会員の卓話を中心にして、経済・文化等専門分野の卓話も企画したい
- ④ 広報・会報
会員情報はもとより、地区分区の情報を掲載し、週報の充実を図る。
- ⑤ 出席・会場監督
規律正しい、楽しい例会につとめる。例会出席率は80%以上目指す
- ⑥ 親睦活動
たすきを着用し、ゲスト・ビジターの皆様に笑顔で迎える
- ⑦ ロータリー情報研修
基本的なロータリーの知識を事あるたびに例会や週報、家庭集会を通じて会員に伝える。

2. 職業奉仕委員会

会員の職場訪問、異業種理解の場など積極的に推進する

3. 社会奉仕委員会

- ① 環境保全と平和を願い「オオゴマダラを飛ばそう」の事業を継続推進する
- ② 環境宣言の文言を1部分見直し、継続事業として例会で唱和する

4. 国際奉仕委員会

米山奨学基金、バギオ基金の地区プロジェクトへの継続支援

5. 新世代奉仕委員会

- ① 青少年交換 派遣、受け入れの要請があれば態勢を積極的に構築する
- ② 青少年育成 地域の青少年育成事業に積極的に支援を行う

.....